

農業水利施設を活用した小水力発電等にかかる県の取組について

- 農村の再生可能エネルギーを有効に活用することにより、土地改良区の維持管理費軽減や農村地域の活性化を図っていく必要がある。
- このため、農業水利施設を活用した小水力や太陽光による発電施設の導入に向けた取組を実施中である。

1. 小水力等発電施設の整備（H26 年度予算額：352,400 千円）

○発電のポテンシャルがあり、地元の導入機運が高い地区から県営により順次実施。

〈平成 25 年度の実施状況〉

① 工事着手に向けた実施設計

- ・小水力：1 地区 湖北地区（長浜市）

② 事業化に向けた概略設計

- ・小水力：3 地区 姉川沿岸地区（米原市）他

〈平成 26 年度の実施予定〉

① 工 事

- ・小水力：1 地区 湖北地区（長浜市）

最大出力：約 30kW

- ・太陽光：5 地区 大原貯水池地区（甲賀市）他

最大出力の計：約 330kW

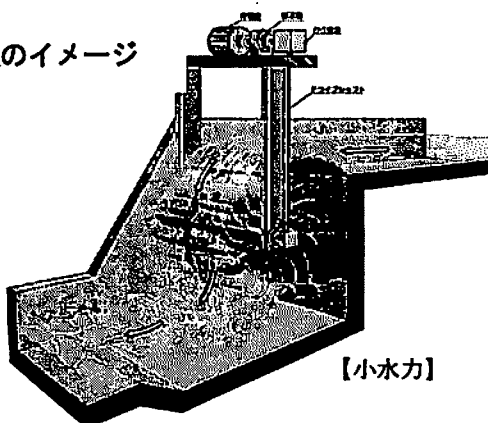
② 工事着手に向けた実施設計

- ・小水力：2 地区 姉川沿岸地区（米原市）他

③ 事業化に向けた概略設計

- ・小水力：1 地区 愛知川地区（東近江市）

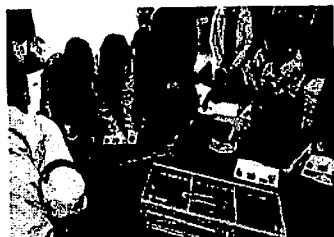
水車のイメージ



2. 集落単位の小水力発電の活用推進 (H26年度予算額: 640千円)

- 農村地域の活性化のため、比較的小さな小水力発電によるエネルギーの地産地消に対する支援を行うとともに、運転・管理状況を検証。6地区 杉野(長浜市) 他
〈平成25年度の実施状況〉

- ・発電機の設置および運転管理等に対する支援



【環境学習状況】



【設置状況】

〈平成26年度の実施予定〉

- ・今年度に設置した発電機の運転管理等に対する支援を行うとともに、維持管理上の課題等を検証。

3. 普及啓発等 (H26年度予算額: 225千円)

- 小水力発電等の導入、普及推進のため、土地改良関係者が維持管理や施設計画等についてのノウハウを身につけることができるよう、以下の取組を実施。

〈平成25年度の実施状況〉

①懇話会

- ・実施設計等を行うにあたり、水車の選定方法などについて、学識経験者等からの技術的な助言を受けることや情報交換を行うために開催。

②シンポジウム

- ・「農業水利施設を利用した小水力等の発電施設の導入に向けて」をテーマとして平成26年1月29日に開催。参加者は約100人。
- ・用水路での太陽光発電の事例紹介や小水力発電の技術的考察などの講演。

③技術研修会

- ・県内3会場(大津、能登川、長浜)で、制度の概要や関係法令など小水力等の導入にかかる研修会を開催。参加者は約70人。

〈平成26年度の実施予定〉

- ・懇話会を開催。
- ・土地改良区等が安心して取り組めるよう、施設計画の考え方や維持管理手法、関連法令等についての研修、現地見学会、専門技術者による現地指導など、普及拡大に向けた取組を充実。

